

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康） ◆たしかな考え（理性・認識） ◆ゆたかな心（感性・情緒） ◆よき仲間（協調性・社会性）



るんびに0歳児くらすだより

♪一緒に心地いね♪

～大人やお友達と関わる姿が増えてきました～

令和5年8月29日（火）

文責 田代 美穂

朝、夕とだんだん涼しくなり、日中も秋のさわやかな風が気持ちよく感じる季節になりました。この時期は、気温の変化が激しいので衣類の調節をこまめにし、沐浴などして気持ちよく過ごしていきながら、よく眠り、よく食べて、よく遊ぶという生活リズムを大切にしていきたいと思います。

子ども達一人ひとりの成長も日々変化し、逞しさを感じられるようになってきました。毎朝1歳児さんと一緒にみんなで朝の会に参加しています。その際に一人ひとりの名前を呼ぶと『はい！』と手をあげてくれるようになり、かわいいお返事を見せてくれています。

最近までハイハイでの移動をしていた、ゆいとくん、こはるちゃん、はやとくんはあんよでの移動が楽しくてしょうがない様子で、まだ歩行は不安定ながらもあんよでの移動を楽しみ行動範囲も広がってきています。しょうまくんは最近ハイハイができるようになり、「ぼくもなかまにいれて～」とばかりにお友達のそばまでハイハイで移動してはニコッと可愛い笑顔を見せてくれています。

一人ひとりが少しずつ出来ることもふえ、私たちとのコミュニケーションも増えてきた中、大人のまねっこやお友達と一緒に遊ぶ心地よさなどを最近感じている場面も増え、お友達のそばで一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。お友達が楽しいことをしていると楽しい雰囲気が周りにも広がり“自分もやりたい”という気持ちから、“なんか楽しいね”と笑い合える微笑ましい姿も見られるようになりました。先日、こはるちゃんは、ボールプール遊びをしていると、はやとくんが寄ってきて嬉しくなった様子で「ぼーい！」とおしゃべりしながらボールを投げて楽しんでおりお友達と一緒に遊ぶ嬉しさが伝わってきました。ゆいとくんやはやとくんは大人のように興味津々で私が洗濯物を干している所へゆいとくんが寄ってきて「おてつだい♪」とばかりに洗濯かごを持ちあげてまねっこしたり、はやとくんは私がトイレ掃除をしようとバケツを持っていると「ぼくが持ってあげる！」とバケツ運びのお手伝いごっこ



